



こもろ女性の家  
5・6月開講『フィットネス』より

- ❖内容 16 特集 小諸市公民館基本方針  
令和元年度公民館報編集委員の紹介
- 17 『ぼくとわたしの作品』(東小学校)
- 募集 こもろ日盛俳句祭(高濱虚子記念館)
- 18 募集 6・7月公民館講座

- 19 お知らせ 小諸市民大学  
『教えて!あなたのサークル』(新町すみれ会/押し花の会)
- 20 『今 支館・分館では』(原村分館/森山分館)
- 21 報告 第20回虚子・こもろ全国俳句大会  
お知らせ 文化会館スケジュールなど

公民館報は、文化センターで開催される様々な講座や催しのお知らせも満載されています。学んだり鑑賞して人生を潤し、知識も増やせると思います。一読をお願いいたします。

編集委員 小山 誠治

『万葉集』で梅の歌32首の序文の漢文で書かれた文章の中からということ。さて、6月といえば夏至の季節。昼間が一年で一番長いはずですが、梅雨に重なり日照時間は必ずしも多くないようです。今年の冬は雪も少なく水不足になりかねないので適度な恵みの雨も必要かと思えます。

この頃は、もう葉桜となり豊かな緑の季節となりました。そして大型10連休の間に平成から新元号『令和』に5月1日より変わりました。大化から始まり248番目。出典は日本最古の歌集といわれる『万葉集』で梅の歌32首の序文の漢文で書かれた文章の中からということ。

4月23日(火)、長野朝日放送の朝の番組お天気コーナーで懐古園の満開の桜が全国で紹介されました。テレビ画面一杯に咲きほこり『歴史ロマンに浮かぶ桜の絶景』のタイトルで、石垣の上からのライブ中継でした。



小諸市公民館基本方針  
 生きがいづくり・地域づくりのお手伝い

# つながり・主体・協働

小諸市の総合計画では「住みたい、行きたい、帰ってきたい、まち小諸」を目指す将来像とし、「子育て・教育」「環境」「健康・福祉」「産業・交流」「生活基盤整備」「協働」をまちづくりの柱としています。これら六つの柱は公民館活動との関わりも大きく、ここでは、住民のつながり・協働・主体性が大事になってきます。また、長野県の総合計画では、計画推進のエンジンに「学びの力」と「自治の力」を位置づけています。戦後間もなく誕生しました公民館は、この「学びの力・自治の力」を育み、地域の課題を住民自身の力で解決する拠点としての役割を果たしてきました。

少子高齢化と人口減少が進むに伴い、暮らしや地域が変わり、様々な課題が生じてきています。そのような状況において、人々がつながり、生きがいをもって住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、市内各地域での「これからの地域や暮らしのあり方について学び、他と共に改善に取り組みむなどの住民による主体的

な活動」に寄与することが小諸市公民館の重要な役目であると考えます。

そこで、生きがいづくりと地域づくりに関わる学習と実践への支援を今年度も引き続き基本方針とします。

生活課題・地域課題に関し住民の主体的な学習と実践を支館・分館事業の中に設けていただけるよう、研修会や情報発信を充実させます。

公民館での学習を通して、互いにつながり、趣味・教養を高めたり、交流を深めたりすることにより生きがいづくりが進められるよう、多様なニーズに応える各種講座を充実させます。

また、以下を重点活動とします。

- ① 他機関・団体等との連携を強化し、協働体制を整える。
- ② 青少年対象講座など幅広い年齢層を対象とした事業を充実させる。
- ③ 支館・分館での地域づくりに関わる事業など、住民の主体的な取組みを支援する。さらに、その取組みと成果

を市内全地域に広げていくようモデル事業として助成する。

④ 多くの市民へ情報を発信するよう広報活動を工夫する。

「人口減少や少子高齢化が進み大変だと言うが、うちの地域ではどんな問題があるんだろう」「いつまでも暮らし続けられる、誰もが住みたくなるってどんな地域？うちの地域の将来のビジョンは？」など、普段感じたり考えたりしていることをみんなで話し合う。そして、それらに対して行政頼みではなく自分たちができることを見つけ出していく。そんな学習が県内外各地の公民館で盛んに行われてきています。

このような取組みの中で、人々がつながり、主体的に協働した動きが強まり地域が変わっていくのではないでしょう。市内各地でそんな地域づくりのための学習が推進されることを願い、そのお手伝いを小諸市公民館にさせていだきたいと考えております。

## 令和元年度

# 公民館報編集委員の紹介

「公民館報」は、昭和24年に第1号が発行されてから毎月発行しています。この公民館報を作っているのが「館報編集委員」です。各支館から1名ずつ（中央支館は2名）推薦され、教育委員会から委嘱を受けて毎月2回、原稿校正や次号の検討などを行っています。

また、支館・分館の行事へ取材にお伺いし、記事を執筆します。記事にすることで、市民の皆様へ地域情報を提供し地域の文化・伝統を継承や発展につなげられればと思います。

公民館報で地域と人、人が「つながる」ことができよう努力してまいりますので、よろしくお願いたします。



私たちが取材にお伺いします！

- |         |       |       |
|---------|-------|-------|
| 【前列右から】 | 中央支館  | 中島 正和 |
|         | 中央支館  | 小宮山 季 |
|         | 川辺支館  | 鷹野 夏恵 |
|         | 三岡支館  | 山浦 明典 |
| 【後列右から】 | 南大井支館 | 柳沼いつ子 |
|         | 西小諸支館 | 遠藤 武司 |
|         | 北大井支館 | 小山 誠治 |
|         | 大里支館  | 土屋 薫  |



『やさしい花』

六年一組 石田 甲奈

私が、この版画で工夫したこと、がんばったことは表現です。この花は、ふわりとじていてやさしい感じだったので、版画でも花をふわりとさせ、全体的にやさしさを取り入れられるようにがんばりました。つぼみもただ描くだけじゃなく、ふくらんでいるように描きました。もう一つは細かさです。表現を出すには



一つ一つ細かく、ていねいに描くことを意識して描きました。かんたんにはけずれる所もしんちようにていねいにけずりました。

次に、私が六年生になっての目標は「体調管理」です。病気やケガなどにならないように、体をしっかり毎日動かしていきたいです。

二つ目は、「責任感を持つ」です。六年生では、学校の最高学年として、一年生から五年生のお手本となるように責任感を持って、がんばりたいです。分からない所も教えてあげたり、そんけいされる六年になりたいと思います。

『六年生になっての目標』

六年二組 毛利 優芽

私は四月に六年生になりました。六年生になっての目標は三つあります。

一つ目は、テストの点を上げていくことです。五年生のときは、満点をとることが少なかったのですが、今年テスト前には遊ぶ時間を減らして、勉強をやりたいと思います。二つ目は、ふだんの日記や作文から、漢字をよく使うようにしていくことです。そうすることで、苦手な漢字が得意になったり、たくさん頭に入ったりすると思ったからです。

三つ目は、何ごとも最後までやることです。特に、習っ



ているピアノで難しいことがあったときに、少し考えたりねばり強く練習したりすることで、上手になっていきたいと思っています。

この三つを出来るように努力して、低学年のお手本になるような六年生になりたいと思います。一年間がんばっていききたいです。



第11回俳句の林間学校「こもろ・日盛俳句祭」

ひざかり

参加者募集

- 日 程 7月26日(金)～7月28日(日)
- 場 所 【主会場】ベルウィンこもろ 【講演会・シンポジウム】ステラホール
- 内 容 吟行【午前】…市内・郊外・高峰高原  
句会【午後】…ベルウィンこもろ・読書の森・高峰高原・ほんまち町屋館・マンズワイン・虚子記念館  
講演会 7月26日(金)午後4時～ 講師 坂本宮尾氏 演題「評伝を書くこと一久女をめぐる」  
シンポジウム 7月27日(土)午後4時～ テーマ「時事俳句について」
- 参加費 一人1日2,500円(高峰高原吟行句会は別途昼食・バス代2,000円)
- 申込締切 7月19日(金)(高峰高原吟行句会は6月末日)
- 問い合わせ・申込み先 市立小諸高濱虚子記念館 ☎26-3010

## 6・7月公民館講座のご案内

『生涯楽しく学びたい』公民館につどい、知識と教養を高め、楽しく学ぶ仲間と住みよいまちを創りましょう。申込みは平日午前9時から午後5時まで、公民館窓口・電話・FAX・メール・インターネットで受け付けます。

申込み多数の場合は初心者優先とし公民館にて責任抽選いたします。また、申込み少数の場合は講座が中止となる場合があります。

なお、FAX・メールで申込まれる方は講座名、名前、住所、電話番号を必ず明記してください。

問い合わせ先：小諸市文化センター

電話 23-8880 / FAX 25-2224

E-mail : [bunka@city.komoro.nagano.jp](mailto:bunka@city.komoro.nagano.jp) お申込みは

※小諸市Facebook・Twitterでも情報発信しておりますのでぜひご覧ください！

小諸市文化センター

検索



### ワード&エクセル中級

～一歩すすんだ機能を学ぶ【応用編】～  
エクセルを使って、家計簿・住所録作り！

- ◇開催日 7月9・12・19・23・26・30日(火・金)
- ◇時間 午前9時30分～11時30分
- ◇場所 図書学習室
- ◇定員 15名
- ◇テキスト代 2,376円
- ◆申込み期間 6月5日(水)～6月19日(水)



### はじめてのスマートフォン

「スマートフォンを買ってはみたけど…」  
スマホライフを新たにはじめてみませんか？

- ◇開催日 7月10日(水)
- ◇時間 午前9時30分～11時30分
- ◇場所 第一講義室 ◇定員 15名
- ◇テキスト代 200円 ◇持ち物 スマートフォン
- ◆申込み期間 6月11日(火)～6月25日(火)



こもろ女性の家

### ガムテバッグ作り

300円で軽くて・カラフル・防水バッグ

託児付き

- ◇開催日 7月12日(金)
- ◇開催時間 午前10時～12時
- ◇場所 第一講義室
- ◇定員 20名
- ◇材料費 300円
- ◆申込み期間 6月12日(水)～6月20日(水)



こもろ女性の家

### ジヨイフルストレッチ

ストレッチで筋力アップ

託児付き

- ◇開催日 7月24日・8月7・21日・9月4日(水)
- ◇開催時間 午前10時～11時
- ◇場所 乙女湖体育館
- ◇定員 30名
- ◇参加費 無料
- ◆申込み期間 6月18日(火)～6月28日(金)



こもろ女性の家

### 話し方教室

話し方とコミュニケーション

託児付き



「上手に話ができない」  
「自分の声が嫌い」  
「滑舌が悪い」  
の悩みが劇的に解消!!

講師  
コミュニティテレビこもろ  
チーフキャスター 後藤 理恵

- ◇開催日・内容
 

6/25(火)	良い発声法
7/9(火)	心地よい声
7/23(火)	話し方のコツ
- ◇開催時間 午前10時～11時30分
- ◇場所 第一講義室
- ◇定員 12名 ◇参加費 無料
- ◆申込み期間 6月4日(火)～6月18日(火)

### ピザ窯をつくるう

3月に開催し大好評だった『移動式ピザ窯』の作り方講座。  
今回も参加者の皆さんでピザ窯を作ります！



- ◇開催日 7月27日(土)
- ◇時間 午前9時30分～午後1時
- ◇場所 陶芸木工室
- ◇参加費 無料
- ◇定員 25名
- ◆申込み期間 6月17日(月)～6月28日(金)
- ※今回はピザの試食はありません。

# 小諸市民大学からお知らせ

問い合わせ先 小諸市民館（小諸市民大学事務局） ☎23-8880

**第2回 7月28日(日)**  
**笑いすぎにご注意！『憲法くん』**

～永六輔、井上ひさしも絶賛！～

コメディアン **松元ヒロ**

会場：**小諸市文化会館**

【開演】14：00（開場13：30）

※どちらの講義も市民大学受講者以外の方でも受講できます（資料代 各1,000円）

**第5回 8月25日(日)**  
**『ぼくらの民主主義なんだぜ・2019』**

～現代日本文学をリードする小説家で、ラジオパーソナリティも好評～

明治学院大学教授 **高橋源一郎**

会場：**ステラホール**

【開演】14：00（開場13：30）

## 小諸市民大学受講者 募集！

— 受講希望の方はお問い合わせください —

●時間 19：00～21：00 【全8回】

●受講費 3,000円

回	期日	開講時間	講師	講義題目
1	7/19(金)	18：30	太田昌克（共同通信社論説委員）	アメリカはどこへ向かうか ～日本の対米関係を考える～
2	7/28(日)	14：00 (小諸市文化会館)	松元ヒロ（コメディアン）	笑いすぎにご注意！「憲法くん」～永六輔、井上ひさしも絶賛！～
3	8/9(金)	19：00	鷹野義昭（株）テムズ代表取締役）	テレビCMのウラオモテ…マーケティング戦略で小諸を変える！
4	8/18(日)	9：50 (氷風穴)	小島真一（編者）／氷風穴保存会	社会見学&受講生のつどい（参加費：別途1,000円）
5	8/25(日)	14：00 (ステラホール)	高橋源一郎（明治学院大学教授）	ぼくらの民主主義なんだぜ・2019
6	9/13(金)	19：00	海野和男（日本自然科学写真協会会長）	「世界に虫を追って考えたこと」～人の暮らしや環境について～
7	9/20(金)	19：00	オースチン・オーガー（ビジネス開発ディレクター）	異文化を学ぶ～世界中の人々との交流を通じて～
8	9/27(金)	18：45	大川公一（作家）	「過去の記憶を掘りおこし、未来を拓く」～小諸義塾の青年たちの夢～

私達、新町すみれ会は月2回公民館で大正琴を武井シズ子先生のもと10名で練習しています。長野県大会、信州大会に参加しまた全国大会では、一昨年NHKホールで演奏し貴重な経験をしました。

武井教室では、毎年3月に各教室ごとに、一年間の練習の成果を発表します。今年は、31回目を行いました。

これからも、いろいろな曲に挑戦して、皆で楽しくレベルアップ出来るよう頑張りたいと思います。

高橋 ゆみ子



新町すみれ会（大正琴）

## 教えて！あなたのサークル

押し花の会

私達『押し花の会』は、現在7名で活動しています。以前は16名の会員でしたが、高齢化の為、年々会員が減っていき約半数になってしまいました。寂しさもありますが、今までに習ったことを基に押し花を楽しんでいます。

月に一度集まって押し花の額を作る人達、冬までに次々に咲いた花や桃やりんごなどの果物を押ししてストックしておき、田畑が一段落した冬に、ハガキを作ったり、子どもの結婚式のブライドや母の日のカーネーションなど記念の花を額にしたりしてそれぞれが押し花を楽しんでいます。

また、社会福祉協議会にも登録をして、地域のお年寄りの方々と一緒に、コースターやハガキを作り、押し花を楽しんでいただいています。

高橋 次子



# 今支館・分館では

## 『麻雀大会』

—原村分館—



麻雀をしている参加者の皆さん

毎年原村分館では、公民館事業として様々な活動を行っています。その中でも恒例の麻雀大会は、25年以上も続く伝統ある行事のひとつであり、麻雀愛好者の要望で年2回、繁期前の2月、3月に開催されます。1回目は公民館事業として、2回目は愛好者の参加費で開かれるわけですが、年々参加者が少なくなってきたことが気掛りです。今年の参加者は、1回目4卓（16名）、2回目3卓（12名）でございました。参加者の中には紅



一点の女性もいます。老若男女、幅広い世代が一緒になつて楽しめるのも魅力的な大会となりました。

午後7時に開始。時間前には、麻雀を心待ちにした参加者がぞくぞく集まってきました。来た順に、4人で卓を囲んで順番に牌をひき、牌の組合わせで役を作っていきます。

1回戦50分、休憩を挟んで5回戦行われます。深夜0時までの長丁場。お酒、おつまみを取りながら熱戦が繰り広げられました。

当然勝ち負けを決め、順位をつけるギャンブル性の高いゲームではありますが、対戦相手を不快にさせない気配りをもって、楽しみながらプレーしている原村区民の人柄が垣間みれた大会でした。これからは、新しい人にも

どんどん参加してもらい、世代間交流の一環として、いつまでも区民に愛される行事であることを願います。  
原村分館長 柳澤 伸

## 『芸能祭』

—森山分館—

森山区の芸能祭は、公民館主催の主要行事として、36年も継続されています。同じ区に住む仲間の特技を間近で見ることができるとして、毎年区民が楽しみにしているそうです。

今年度は平成31年3月3日(日)に、森山区公民館で開催。発表者は森山区民が中心ですが、地元区民に限らず、他地域から参加する発表者もいます。

演目は、老人クラブ「桃寿会」のコーラス発表からスタート。消防音楽隊の演奏では美空ひばりの曲が披露されました。また、『信濃の国』の演奏では、参加者たちも一緒に歌唱し、大いに盛り上がりました。

多くの演目がある中で、幕間では各テーブルに用意されたお茶や菓子を片手に、皆さんの歓談が進みます。



様々な演目が披露されました。

続いては、地元の小学校高学年児童による獅子舞披露。森山の獅子舞は、もともとは江戸時代から伝わる歴史のあるものでしたが、過去には一度途絶えてしまいました。それを38年前に公民館が子ども獅子舞として復活させて、以来、毎年正月に舞っているのだそうです。森山区の皆さんの想いが、いまの若者たちへと繋がっている、そんな一面でした。

他にも、普段から稽古に励んでおられる皆さんの見事な日本舞踊やのど自慢がたくさん集まったカラオケ大会、『信濃の国』にあわせた体操教室など、バラエティに富んだ演目が披露されました。終

盤には、じゃんけん大会。公民館長と参加者全員がじゃんけんし、勝ち残った3名に賞品が授与。最後は、全員で『三岡の歌』を合唱し、芸能祭もお開きに。

今年度は、午前11時から午後2時半までの開催。茶菓子だけでなく、寿司詰め合わせも用意されました。参加者、発表者合せて総勢165名の大変大きな芸能祭となりました。

公民館役員、発表者の皆さんによって支えられて、文化活動発表を愉しむ場として愛されている芸能祭。これからの令和も、森山区だけでなく小諸市の皆さんに愛される文化祭となっていくのではないのでしょうか。

公民館報事務局



児童たちによる獅子舞

# 第20回 虚子・こもろ全国俳句大会

平成31年4月29日(月)第20回虚子・こもろ全国俳句大会が開催されました。

当日は午前8時30分より席題「桃の花」と「小諸市内囑目吟(小諸市内のことを詠んだ句)」が発表され、当日句の投句が始まりました。与良・荒町・本町・相生町・大手の各区において入選句の短冊や幟旗が掲げられました。吟行会場でもあるほんまち町屋館・与良館では参加者の方々へのおもてなしが催され、多くの方々に楽しんでいただきました。

第20回記念大会ということで、当日句の選者でもある星野高士先生による記念講演に加え、さらら会による歓迎演奏が催されました。講演会では、星野先生が「立子俳句と私」と題して星野立子の俳句を交えながら、立子の人柄についてお話しされました。また、歓迎演奏では、小諸なる古城のほとりや椰子の実など小諸にゆかりある曲を中心に6曲の演奏がありました。

引き続き行われた表彰式には、29名の入選者の方が参加くださいました。小池実行委員長をはじめ、小泉市長・小林教育長・各後援団体代表より表彰状と句を刻んだ楯が贈呈されました。さらに、午前に行われた当日句の入選者の方へも賞品が贈呈され会場は大いに盛り上がりました。

最後に今大会にご支援・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

講演をされる  
星野高士先生



さらら会による  
歓迎演奏



## 入選作品(市内上位入賞者)

一般の部

### ● 毎日新聞長野支局賞

搾乳器の音軽やかに年新た

塩川 正

中学生の部

### ● 特選

葉桜の揺れる扶間に金閣寺

菅原中学校 田中陽菜

小学生の部

### ● 特選

あじさいに光る七色水の玉

野岸小学校 坂部直音

※学校名は投句時のものです。

(応募者数 6、072名/投句数 21、243句)

## — 文化センターだより —



6月は梅雨といいますが、梅の収穫時期です。冬を越し、春からいよいよ夏へ。様々な自然の実りが見られる季節になっていきます。4月から開講している『家庭菜園』講座でも、これから野菜が育っていくのが楽しみです。

夏、文化センターでは沢山のイベントを計画しています(7月公民館講座については18頁)。8月には、夏休みこども講座、デジカメ講座なども。次号7月号でご案内予定です。是非ご覧ください!

## 小諸市文化会館 6月スケジュール

日時	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
6/13(木)	14:00	食品衛生講習会	佐久食品衛生協会小諸支部	0267-23-6745
6/21(金)	9:30	校内音楽会	美南ガ丘小学校	0267-22-2000
6/26(水)	未定	小北(小諸・立科)小学校合同音楽会	小諸北佐久学校職員会	0267-22-0770 (千曲小学校)

## 受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】 令和元年8月利用予約 6月3日(月)  
(貸出備品含む)  
【乙女湖体育館】 令和元年12月利用予約 6月3日(月)  
【文化会館】 令和2年6月利用予約 6月4日(火)